

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 4 月 10 日 (2014.4.10)

【公表番号】特表 2013-525272 (P2013-525272A)

【公表日】平成 25 年 6 月 20 日 (2013.6.20)

【年通号数】公開・登録公報 2013-032

【出願番号】特願 2013-500168 (P2013-500168)

【国際特許分類】

C 0 7 C 43/13 (2006.01)

C 0 8 B 37/00 (2006.01)

C 0 7 H 15/08 (2006.01)

C 0 8 G 65/331 (2006.01)

C 0 7 C 69/675 (2006.01)

C 0 7 C 67/08 (2006.01)

C 1 1 D 1/74 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 43/13 C S P D

C 0 8 B 37/00 G

C 0 7 H 15/08

C 0 8 G 65/331

C 0 7 C 69/675

C 0 7 C 67/08

C 1 1 D 1/74

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 19 日 (2014.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記の式 (I) :



式中、

R^1 は、少なくとも m 個の活性水素原子を有する基の残基であり、 m は少なくとも 2 である；

AO は、アルキレンオキシド残基である；

それぞれの n は、独立して 0 ~ 100 である；そして

それぞれの R^2 は、独立して H またはアシル基 COR^3 、それぞれの R^3 は、独立してポリヒドロキシアルキルもしくはポリヒドロキシアルケニルカルボン酸の残基、ヒドロキシアルキルもしくはヒドロキシアルケニルカルボン酸の残基および / またはヒドロキシアルキルもしくはヒドロキシアルケニルカルボン酸のオリゴマーの残基であり、平均で少なくとも 2 つの R^2 は、アシル基である、

で表される化合物。

【請求項 2】

R^1 が、少なくとも 3 個の遊離のヒドロキシルおよび / またはアミノ基を有する基の残基である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】

R^1 が、糖の残基である、請求項 1 または 2 記載の化合物。

【請求項 4】

3000 ~ 8000 の分子量を有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載の化合物。

【請求項 5】

1.3 ~ 1.5 の HLB を有する、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項記載の化合物。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載の化合物の、油中水乳化剤、湿潤剤、水中油乳化剤、洗剤、分散剤および / または可溶化剤としての使用方法。

【請求項 7】

下記の式 (I) :



式中、

R^1 は、少なくとも m 個の活性水素原子を有する基の残基であり、m は少なくとも 2 である；

AO は、アルキレンオキシド残基である；

それぞれの n は、独立して 0 ~ 100 である；そして

それぞれの R^2 は、独立して H またはアシル基 COR^3 、それぞれの R^3 は、独立してポリヒドロキシアルキルもしくはポリヒドロキシアルケニルカルボン酸の残基、ヒドロキシアルキルもしくはヒドロキシアルケニルカルボン酸の残基および / またはヒドロキシアルキルもしくはヒドロキシアルケニルカルボン酸のオリゴマーの残基であり、平均で少なくとも 2 つの R^2 は、アシル基である、

で表される化合物の製造方法であって、基 R^1 を、アルキレンオキシドと反応させ、次いで、該反応のアルコキシル化された生成物を、ポリヒドロキシアルキルもしくはアルケニルカルボン酸および / またはヒドロキシアルキルもしくはアルケニルカルボン酸でエステル化することを含む、方法。

【請求項 8】

前記アルコキシル化された生成物の、ポリヒドロキシアルキルもしくはアルケニルカルボン酸および / またはヒドロキシアルキルもしくはアルケニルカルボン酸に対するモル比が、1 : 2 ~ 1 : 40 の範囲である、請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】

下記の式 (I) :



式中、

R^1 は、少なくとも m 個の活性水素原子を有する基の残基であり、m は少なくとも 2 である；

AO は、アルキレンオキシド残基である；

それぞれの n は、独立して 0 ~ 100 である；そして

それぞれの R^2 は、独立して H またはアシル基 COR^3 、それぞれの R^3 は、独立してポリヒドロキシアルキルもしくはポリヒドロキシアルケニルカルボン酸の残基、ヒドロキシアルキルもしくはヒドロキシアルケニルカルボン酸の残基および / またはヒドロキシアルキルもしくはヒドロキシアルケニルカルボン酸のオリゴマーの残基であり、平均で少なくとも 2 つの R^2 は、アシル基である、

を有する界面活性剤。